



プロ改組50周年

“挑”



ピアノ

萩原麻未

Piano : Mami Hagiwara



指揮

沼尻竜典

Conductor : Ryusuke Numajiri



安来市総合文化ホール アルテピア開館5周年／指定管理者：有限会社アクティブ・プロ創業70周年

広島交響楽団 第29回 島根定期演奏会

HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA The 29th Subscription Concert in Shimane

2022.5.22 (日)

14:30開演 (13:45開場)

安来市総合文化ホール
アルテピア大ホール
(島根県安来市飯島町70)

モーツァルト

交響曲第31番二長調K.297「パリ」

Mozart: Symphony No.31 in D major K.297 "Paris"

ラヴェル

ピアノ協奏曲ト長調

Ravel: Piano Concerto in G major

ラヴェル

バレエ音楽「マ・メール・ロワ」

Ravel: Ma Mère l'Oye

●入場料 (全席指定・税込) / 一般: 3,800円 学生: 1,500円 ※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。要学生証。

●チケット発売日/2022年3月12日(土)、広響事務局…2022年3月14日(月)

●プレイガイド/アルテピア、シマチケ、アクティブ・プロ、広響事務局

◎主催/公益社団法人広島交響楽協会、安来市総合文化ホール アルテピア ◎特別協賛

◎協賛/有限会社アクティブ・プロ ◎後援/島根県、島根県教育委員会、公益財団法人しまね文化振興財団、山陰中央新報



※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。
※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。
※開演時間に遅れた場合、入場に制限がございます。

お問い合わせ/安来市総合文化ホール アルテピア TEL 0854-21-0101

広島交響楽団事務局 TEL 082-532-3080



沼尻竜典の可憐 ～パリから妖精の園へ

国内外でオーケストラやオペラ制作に多数かわり、その明晰な解釈と的確なタクトで楽壇を牽引する沼尻竜典。ワーグナーのような荘厳な音楽でのリーダーシップはもちろん、モーツァルトや佳作で聴かせる酒脱さと愛らしさも絶品です。パリの演奏団体からの注文で書かれたことで「パリ」の愛称をもつ31番。子供好きだったラヴェルがマザーグースの物語を題材にしたピアノ連弾曲として創作した「マ・メール・ロワ」。後にバレエのため曲も追加された管弦楽版は、比較的小ぶりの編成にもかかわらず、ラヴェルの管弦楽法の匠が味わえる逸品。広響とも共演を重ねる萩原麻未のジュネーブ国際コンクールでセンセーションを巻き起こしたピアノ協奏曲にもご期待ください。



指揮 沼尻 竜 典

Conductor : Ryusuke Numajiri

びわ湖ホール芸術監督、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア音楽監督。2022年4月より神奈川フィルハーモニー管弦楽団音楽監督に就任。ベルリン留学中の1990年、プザンソン国際指揮者コンクールで優勝。以来、世界各国のオーケストラに客演を重ねる。国内ではNHK交響楽団を指揮してのデビュー以来、新星日本響、東京フィル、名古屋フィル、日本フィル、群馬響、日本センチュリー響のポストを歴任。ドイツではリュベック歌劇場音楽総監督を務め、オペラ公演、劇場専属のリュベック・フィルとのコンサートの双方において数々の名演を残した。ケルン歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ベルリン・コーミッシェ・オーバー、バーゼル歌劇場、シドニー歌劇場等へも客演、びわ湖ホールでは、2017年より4年間かけてミハエル・ハンペの新演出による《ニーベルングの指環》を上演、空前の成功を収めた。2014年にはオペラ《竹取物語》を作曲・初演、国内外で再演されている。2017年紫綬褒章受章。



ピアノ 萩原 麻 未

Piano : Mami Hagiwara

2010年第65回ジュネーブ国際コンクール〈ピアノ部門〉において、日本人として初めて優勝。第27回パルマードーロ国際コンクールにて史上最年少の13歳で第1位。文化庁海外新進芸術家派遣員としてフランスに留学。

日本、フランスを中心に、スイス、ドイツ、イタリア、ベネズエラ、ベトナムなどでソリスト、室内楽奏者として演奏活動を続けている。これまでに、国内主要オーケストラのほか、スイス・ロマン管、フランス国立ロワール管、南西ドイツ放送響などとも共演を重ねている。また、フランスのラ・ロック・ダンテロン等の様々な音楽祭にも招かれている。

広島市民賞、第22回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞、第22回出光音楽賞、第46回東燃ゼネラル音楽賞（奨励賞）など多数受賞。

広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra

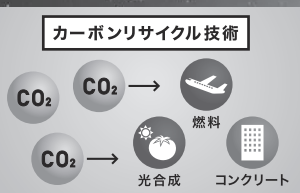


国際平和文化都市“広島”を拠点に“Music for Peace～音楽で平和を～”をテーマに活動するプロオーケストラ。2017年より下野竜也が音楽総監督を務め、その意欲的な音楽づくりが注目を集めている。クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者、秋山和慶が終身名誉指揮者を務めるほか、ウィーン・フィル、コンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデをミュージック・パートナーに、細川俊夫をコンポーザー・イン・レジデンスに、マルタ・アルゲリッチを平和音楽大使に迎えている。1963年「広島市民交響楽団」として設立、1970年に「広島交響楽団」へ改称。学校での音楽鑑賞教室や社会貢献活動にも積極的に取り組み、地域に根差した楽団として「広響」の愛称で親しまれる。海外ではオーストリア、チェコ、フランス、ロシア、韓国、ポーランドで公演を行い音楽によるメッセージを発信している。「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞（ユネスコ）」「広島市民賞」ほか受賞。公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp/>

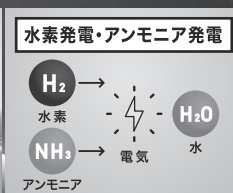
2050年、CO₂排出ゼロへ。中国電力ができること。



発電時のCO₂排出量を減らす。



発電時にCO₂を出さない。



脱炭素社会へギアチェンジ。